

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134005	事務事業名	図書館管理運営事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	地域の読書活動・生涯学習活動を推進・支援することで、利用者の満足度が向上し、利用者増加が図られる。
事業の内容 (手段)	市内5館の円滑な運営 お話し会など各種行事の運営 関係部局とのコラボ企画の実施		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
館外貸出利用者延べ数(個人)	個人の館外貸出利用者延べ数(移動図書館除く)	人	人	目標値	215,000	210,000	210,000
				実績値	201,182	204,011	
				達成度(%)	93.6%	97.1%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	63,611	67,367	86,953	164,843
うち一財		千円	63,202	67,041	84,483	153,555	153,555
(決算額)	直接事業費	千円	62,148	65,143		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	61,859	64,921		徳山駅前図書館指定管理料による増額。	
	正職員人件費	千円	59,981	51,655		NDC10版移行に係る消耗品費の増額。	
	人工数	人	8.10	7.05	10.55		
	支出コスト	千円	決) 122,129	決) 116,798			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	自家用車利用の増加による駐車場不足システム(インターネット)の利用により、利用者の利便性は格段に向上し、インターネット利用による予約が増えてきているなか、その対応は人的作業となるため、事務量が增加している。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 事務量が增大し、人材が手薄であり、特に司書資格を有する職員が少ないため、的確な人的サービスの提供、またそれに対応できる人材の育成・職員配置が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	学校図書館との連携を密にし、小中学生の間に、本に親しむ習慣を身に付けてもらうことにより、児童・生徒だけでなく、家族も含めた図書館利用者の増加を目指す。	評価責任者コメント	学校図書館との連携を充実し、学校図書館の活性化を図るとともに、読書習慣のある児童・生徒の増加につなげていただきたい。また、徳山駅前図書館の開館に伴う相乗効果で、図書館利用者の増加へつなげていただきたい。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
徳山駅前図書館の指定管理が平成30年2月3日から開始されたことに伴い、1年間分の指定管理料となることにより増額となった。 また、NDC8版から10版への移行(20年ぶり)に伴う背ラベル張替、資料の配置換えを、中央図書館耐震化補強工事に併せて実施することにより消耗品費の増額となった。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	図書館普及啓発事業	図書館の環境を整備する(ハード面・ソフト面)ことにより、図書館に対する関心を高めるとともに、利用しやすい読書環境づくりに努める。	・施設管理、予算管理 ・館内整理(展示、コラボ企画) ・各種行事運営	20,671	3.10	1.50	
				否			
②	カウンター業務	利用者に対して適切・正確なサービスを提供することにより、利用者の満足度を向上させる。	・カウンター業務(貸出、返却、レファレンス業務、予約管理) ・配架、書架整理	40,171	3.35	8.05	
				否			
③	図書館ブックリサイクル事業	不用図書を提供することにより、読書への関心を高めるとともに、資源の有効利用を図る。(目標値:10,000冊)	・除籍処理 ・整理、提供 (28年度実施結果:8,656冊)	2,151	0.30	0.20	
				否			
④	閉架書庫の整理	限りあるスペースの中で効率的に資料を管理するために、閉架書庫を設け、適切な資料の管理を行う。	・配架、書庫整理	2,151	0.30	0.20	
				否			

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134014	事務事業名	図書館資料購入事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	利用者の多様化するニーズに対して的確に応え、利用者の満足度を向上させる。
事業の内容 (手段)			

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
資料購入点数	5館全体の図書、AV、逐次刊 行物等の購入点数		点	目標値	19,000	20,000	20,000
				実績値	19,859	20,144	
				達成度(%)	104.5%	100.7%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	34,518	35,313	34,313	44,313	34,313
(予算額)	うち一財	千円	33,452	34,237	34,247	34,247	34,247
(決算額)	直接事業費	千円	34,425	35,212		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	33,359	34,164		ふるさと納税寄付金 (1千万円)の活用 による増額。	
正職員人件費	千円	8,516	12,090				
人工数	人	1.15	1.65	2.20			
	支出コスト	千円	決) 42,941	決) 47,302			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	図書以外の資料(AV、電子書籍)の刊行、要望の増加		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 資料について熟知した司書(的確にサービスを提供できるスペシャリスト)の育成が不可欠である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	利用者の多様化するニーズに的確に対応するために、新鮮かつ広範囲にわたる資料を収集し、歴史や文化等に関する郷土資料の収集保存や情報提供及び人材育成に努める。		評価責任者コメント	利用者のニーズに応えるべく、多様な図書資料等の収集・保存・提供に、引き続き取り組まれない。特に、中央図書館と駅前図書館は、役割分担を明確にして取り組まれない。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
ふるさと納税寄付金1千万円を活用し、徳山駅前図書館と中央図書館の児童書等の整備充実を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	図書館資料(一般・児童)の選択・収集	新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、一般向け・児童向けのコーナーの充実を図る。	・資料の選択、受入 ・資料に関する情報収集	13,667	0.55	2.00	
				否			
②	郷土資料の選択・収集	歴史や文化等に関する郷土資料を収集し、高度なレファレンスにも対応できるようにする。	・資料の選択、受入 ・資料に関する情報収集(郷土史関係の情報)	4,258	0.25	0.20	
				否			
③	資料の発注・受入・整理	収集した資料を、正確に管理できるようにするとともに、利用しやすくする。	・資料の発注、受入、装備	17,288	0.85	1.70	
				否			
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134026	事務事業名	移動図書館運営事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	図書館サービスの地域間格差の是正・均等化を図る。
事業の内容 (手段)	移動図書館車による地域への巡回 学校(小規模校)への乗り入れ やまびこ号 平成22年7月更新 やまびこ号ジュニア 平成7年5月導入		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
館外貸出利用者延べ数(移動 図書館個人)		やまびこ号、やまびこ号ジュニア巡回における個人の館外貸出利用者延べ数	人	目標値	4,800	4,900	4,900
				実績値	4,852	4,916	
				達成度(%)	101.1%	100.3%	

事業 費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	5,708	5,840	4,140	4,137	4,140
(予算額)	うち一財	千円	5,708	5,840	4,140	4,137	4,140
(決算額)	直接事業費	千円	5,461	5,693		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	5,461	5,693			
	正職員人件費	千円	4,073	6,228			
	人工数	人	0.55	0.85	0.95		
	支出コスト	千円	決) 9,534	決) 11,921			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成26年6月新南陽地区巡回車両なかよし号を廃止したため、やまびこ号が平成27年7月から新南陽地区を巡回する1台体制となりステーション数が減少。周辺地区の人口減少、高齢化により、利用者自体減少傾向にある。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 利用者の減少
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	各ステーションの状況を分析し、巡回コースを検討する必要がある。
	事務事業の方向性	図書館から遠隔地に住む市民を対象にサービスを進める。特に、お年寄り、児童など交通弱者に対するサービスの充実に努める。	評価責任者コメント	移動図書館のサービスを必要としている人に、サービスが提供できるよう、継続的に取り組まれない。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など) 地域の実情や要望と、効果的な運行のバランスを考えながら事業を行なう。	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	移動図書館車の整備	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・移動図書館車の安全運行に係る管理、整備	1,232	0.30	0.20	
				否			
②	移動図書館資料の選択	移動図書館車利用者に対して、新鮮で広範囲にわたる資料を収集することにより、利用者の満足度を高める。	・資料の選択、受入 ・利用者ニーズの把握	583	0.10	0.15	
				否			
③	移動図書館車「やまびこ号」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・徳山、新南陽、熊毛地区の巡回 ・小規模校への乗り入れ	3,304	0.30	1.20	
				否			
④	移動図書館車「やまびこ号ジュニア」	移動図書館車を運行することにより、図書館サービスの地域間格差を解消し、地域での読書活動の推進を図る。	・大津島地区の巡回 ・小規模な配本	575	0.15	0.15	
				否			

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134029	事務事業名	図書館システム管理運営事業		
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	久行 竜二

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	単独
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	資料・利用者の迅速・正確な管理、サービスの向上を図る。
事業の内容 (手段)	図書館システムの活用により、市立図書館全館の資料管理、利用者管理、資料貸出・返却事務等を迅速かつ正確に処理し、さらにインターネットの活用により利用者への情報提供や、資料検索・予約等が館内外を問わず24時間可能となる。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
予約・リクエスト資料数		利用者からの予約・リクエストを受け付けた資料数	件	目標値	100,000	105,000	105,000
				実績値	104,097	101,593	
				達成度(%)	104.1%	96.8%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費 (予算額)	千円	13,208	13,117	16,925	37,781	37,781
	うち一財	千円	13,208	13,117	16,925	37,781	37,781
直接事業費 (決算額)	千円	13,153	12,855		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
	うち一財	千円	13,153	12,855		徳山駅前図書館に係る、保守料、システム使用料の増額。	
正職員人件費	千円	5,924	5,495				
	人工数	人	0.80	0.75	1.00		
支出コスト	千円	決) 19,077	決) 18,350				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	システムの活用は、図書館運営に欠くことができないものとなっている。また、さらなる業務の効率化、利用者の利便性向上が期待できるICシステムの普及も進み始めた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 利用者の利便性向上については大いに資しているが、その対応のため、本来であれば省力化が期待できるところであるが、かえって事務量が增大してしまう側面がある。	
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	利用者から要望のあるWi-Fi環境整備などの検討も必要である。
	事務事業の方向性	インターネットからの予約も年々増加しており、利用者の利便性が向上している。ICタグの導入については、費用対効果の面から現時点では見送ることとし、現行システムをH32.1まで活用することとしている。	評価責任者コメント	進化し続けるICT分野の情報収集に努め、利用者のニーズに応えるべく取り組まれたい。	

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成30年2月3日の徳山駅前図書館開館に伴い、徳山駅前図書館の管理運営費が1年分になることにより増額となった。 市内6館の図書館共通システムを運用し、徳山駅前図書館での自動貸出機やipad貸出等により、利用者サービスの向上を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	システム管理全般	資料および利用者の迅速かつ正確な管理を行う。	・システムの正常な運用 ・ホームページ管理 ・追加システム(民間活力導入図書館)についての検討	12,856	0.75	1.35	
				否			
②							
③							
④							
⑤							

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134032	事務事業名	図書館耐震化事業			
担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	久行 竜二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	200104	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	1生涯学習の推進			補助・単独の別	補助
	推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	周南市民、市内通勤・通学者	事業の目的 (意図)	利用者の安全を図る。
事業の内容 (手段)	図書館老朽化の対応として、中央図書館の耐震補強計画・実施設計を行う。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度	
					目標値	—	100.0	—
					実績値	—	100.0	—
					達成度(%)	—	100.0%	—

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	直接事業費	千円	—	18,018	—	56,862	
(予算額)	うち一財	千円	—	12,088	—	823	
直接事業費	千円	—	6,264		対29年度増減理由	対30年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	—	1,353		中央図書館耐震補強工事。	
正職員人件費	千円	—	2,198				
	人工数	人	—	0.30	—		
支出コスト	千円	—		決) 8,462			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	安心安全な利用環境の整備のための策定が必要とされ、平成28年度内で計画策定完了した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	耐震補強基本計画を基に、平成30年度耐震化工事の実施予定。		評価責任者コメント	安心安全な利用環境の最優先課題として、計画通り策定を完了した。 平成30年度の工事施工に向け、準備に取り組まいたい。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
平成28年度に実施した「中央図書館耐震補強計画・実施設計」に基づき、利用者の安心安全を確保するため、中央図書館の耐震補強工事を行なう。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	契約・予算執行処理業務	適正な契約と計画的な予算執行により、健全な予算管理を実施する。	起工・入札・契約・支払手続(施工向、契約、負担行為、支出命令等)	6,264 否	0.30		
②							
③							
④							
⑤							